

5月31日：VN指数は小幅下落 (VN-Index -0.36%)

- VN指数は前場、穏やかな取引となった。流動性は前日比で41%減少し、外国人投資家は4,800億ドンを売り越した。
- 銀行セクターがやや下落し、指数は前日終値付近での前引けとなった。
- 後場は徐々に売りが広がり、取引終盤にかけて指数を押し下げた。
- 小売セクターが指数を支えた一方、銀行、金融、食品飲料セクターが足を引っ張った。
- 198銘柄が上昇、222銘柄が下落、71銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は27.5%減の18.7兆ドンとなった。

VN30指数は軟調に推移 (VN-30 -0.26%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、9銘柄が上昇し、18銘柄が下落、3銘柄が変わらずとなった。
- 1%超の上昇銘柄は、MWG (+1.27%)とHPG (+1.24%)のみだった。
- GVR (-2.36%)、SAB (-1.69%)、VCB (-1.58%)などが大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- VIC (+0.93%)と三菱商事グループは、包括的な戦略的協力に関する覚書を交わした。三菱商事はVHMを通じ、特に都市開発、データセンター、再生可能エネルギー、食用油の再利用、自動車産業などに投資する計画。
- ACV (-1.80%)は今朝、年次総会を開催。2024年に売上高20兆3250億ドン（前年比2%増）、税引前利益9兆3780億ドン（同6%増）を達成する計画。
- 外国人投資家は1兆3990億ドンの売り越しだった。VHM (-0.38%)、VCB (-1.58%)、MWG (+1.27%)が最も売り越された銘柄だった。一方、買い越し銘柄に目立った動きは見られなかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。